

2022年9月9日

いすみ市商工会

東日本電信電話株式会社 千葉事業部

**いすみ市における
“スマートプレート™”を活用した観光・宿泊・飲食業の振興・活性化
～ 地域コミュニティにおける課題解決と発展に向けた取り組み ～**

いすみ市商工会（会長：吉田 優、以下「いすみ市商工会」）は、東日本電信電話株式会社 千葉事業部（執行役員 千葉事業部長：境 麻千子、以下「NTT 東日本」）と連携し、地域における観光・宿泊・飲食業の活性化を目的に、アプリケーションやクラウドからコントロール可能な IC チップを内蔵した「スマートプレート™」※1 を活用した観光客誘引及び観光情報発信の強化によるエリアの活性化に取り組んでいます。

※「スマートプレート™」；

株式会社アクアビットスパイラルズ（東京都港区、代表取締役 CEO：萩原 智啓）が提供するモノや場所をオンラインサービスと直結する「Hyperlink of Things®（HoT=モノのハイパーリンク）」です。スマートフォンを近づけるだけで様々なデジタルコンテンツを瞬時に表示可能なバッテリー不要の NFC（Near Field Communication：近距離無線通信）タグを内蔵し、利用にあたって特別なアプリのインストールは不要。クラウドを経由してタイムリーにコンテンツを更新できるため遠隔でリアルタイムに情報発信を行うことが可能です。

URL) <https://spirals.co.jp/ja/>

1.背景・課題

いすみ市商工会の会員は、観光や宿泊・飲食事業者が約 35%を占めており、コロナ禍における集客減・売上減が最大の課題となっています。誘客を目的とした地域からの情報発信については、パンフレットやポスターなどの紙媒体やホームページの利用を中心としていますが、紙媒体では掲載する情報量に限度があり、戦略的でスピーディーな情報発信を行うことが難しいほか、差替え印刷や交換作業などのコストや稼働の確保が大きな負担となっていました。また、ホームページからの情報発信においては、当該地域の情報を観光客等へ積極的に発信する仕組みがこれまでに無かったために、改善が求められておりました。

このような背景のもと、いすみ市商工会は NTT 東日本と連携し、会員事業者から発信するコンテンツにおいて、情報量に制限が無く、更新情報の発信が容易な「スマートプレート™」の整備・活用を進めることで、観光・宿泊・飲食業の活性化に取り組んでいます。

2.内容

- (1)観光客等の誘引・増加を目的とする時節等を捉えたタイムリーな情報を、当該地域内外に設置した「スマートプレート™」を介して、コンテンツの量に制限無く、会員事業者が遠隔から簡易でスピーディーに発信・更新可能です。
- (2)観光客等の皆さまが観光施設・駅・飲食店・宿泊施設などの当該地域内外に設置している「スマートプレート™」に「スマートフォン」をかざすことで、いすみ市商工会の会員事業者が発信する情報コンテンツを確認することが可能です。非接触により「スマートプレート™」から情報コンテンツの取得が可能のため、感染対策としても適しています。

スマートプレート活用イメージ

**スマホをかざすだけ。
非接触型瞬間コミュニケーション
「スマートプレート」**

触るのは自分のスマホだけ

アプリ不要
非接触
かざすだけ

NFC/QRコードから
最新の観光情報へアクセス

いすみ市

- ・パンフレット
- ・食事処
- ・観光見所
- ・体験・遊ぶ
- ・泊まる
- ・イベント
- ・アクセス
- ・災害避難情報

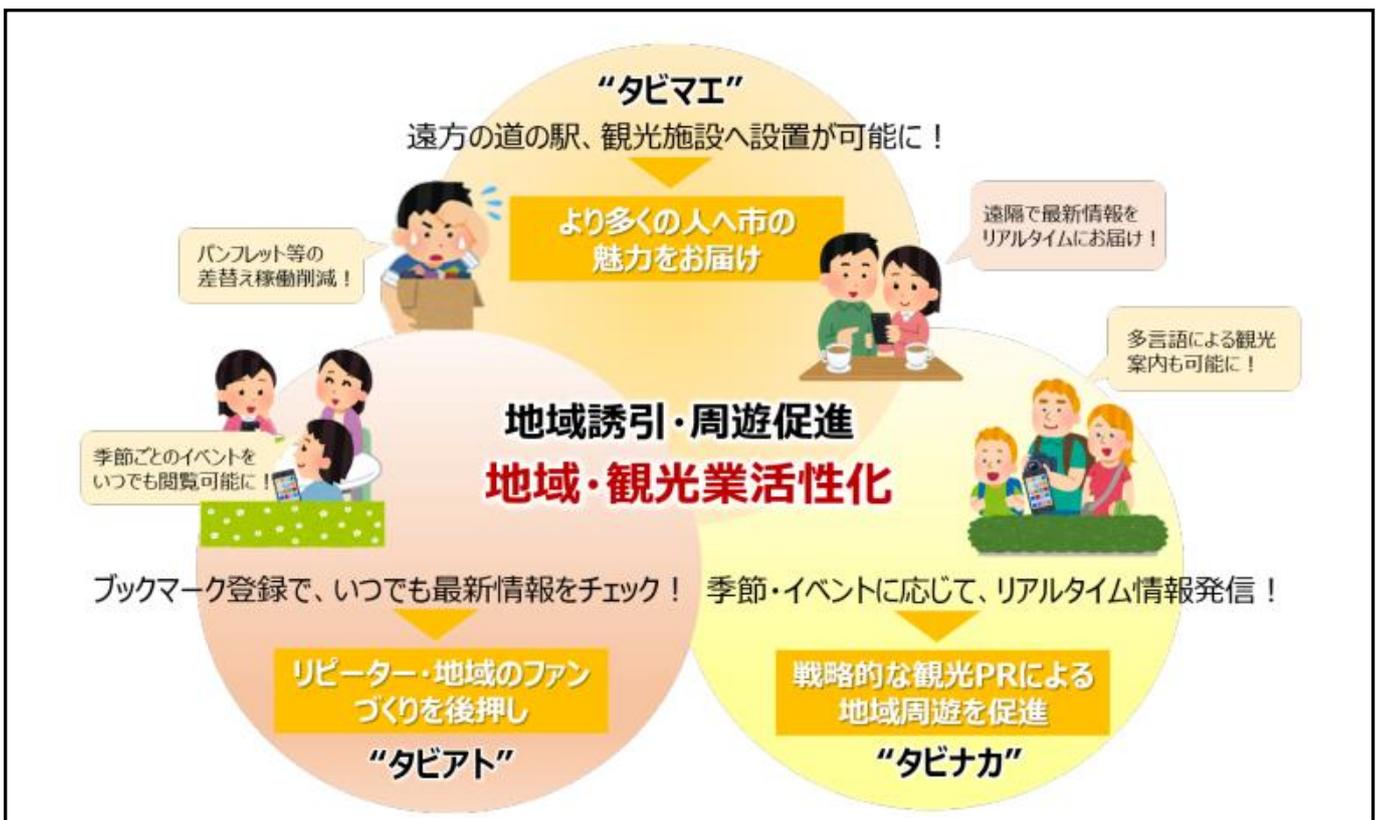
※自由にカスタマイズ可能

※コンテンツ内容は時節により変更されます。

発信するコンテンツ（スマートフォンへの表示イメージ） ※コンテンツ内容は時節により変更されます。



<参考>スマートプレート™ などIoT 環境導入・活用後の情報発信（イメージ）



3.役割

- ①いすみ市商工会：地域における商工業・観光業・農業振興推進、及び会員事業者支援。
- ②NTT 東日本：観光客誘引と観光情報発信の強化に向けた分析・検証・提案。
株式会社アクアビットスパイラルズと連携した「スマートプレート™」を活用したソリューション実施。

4.今後の展望

いすみ市商工会は、今後も IoT 環境の活用推進により、当該地域の更なる魅力向上と観光客の増加に取り組んでまいります。

NTT 東日本は、地域に寄り添うコミュニティ活動に努め、地域の課題解決に向けた IoT ソリューションや DX 化の推進、及び広域エリアでの地域周遊促進や相互送客などにつながる取り組みを行ってまいります。

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ